

# 条件付き一般競争入札提出書類説明会 次 第

日 時 令和3年11月8日(月)

午前の部：10：30～

午後の部：13：30～

場 所 田村市役所1階107多目的ホール

1 開 会

2 あいさつ

3 内 容

(1) 入札参加資格確認申請書の記載について

資料1

資料2

(2) 見積内訳書の記載について

資料3

4 閉 会

入札参加資格確認申請		
14	①	申請の方法 入札に参加する者は、電子入札システムにより14①の書類を添付のうえ申請すること。期限までに申請がない場合入札に参加できない。
	②	申請書類 <b>条件付き一般競争入札参加資格確認申請書（様式第3号）</b> (1) 条件付き一般競争入札参加資格確認申請書 (2) 同種工事の施工実績（工事毎） (3) 主任（監理）技術者の資格・工事経験 (4) 経営事項審査結果通知書の写し（最新のもの）
	③	申請期限 令和〇年〇〇月〇〇日 午後4時まで
入札方法及び入札期間		
15	①	入札方法 電子入札
	②	入札期間 令和〇年〇〇月〇〇日 午前8時30分から 令和〇年〇〇月〇〇日 午後4時まで
	③	提出書類 入札金額見積内訳書「数量、単価、金額を記載」を提出すること (再度入札の場合は、後日提出するものとする。)
16	入札保証金	免除
入札（開札）日時		
17	①	開札日時 令和〇年〇〇月〇〇日 午前〇〇時〇〇分
	②	開札場所 電子入札
18	入札回数	最低制限価格を下回って入札した者は、再度入札に参加できないものとする。
19	落札者の決定	● 本入札においては、開札後に予定価格を下回る最低価格入札者の入札参加資格要件等を再審査し、当該要件を満たしていることが確認できた場合に、落札者として決定する。 なお、落札決定者が事前に提出した入札参加資格確認申請書の内容に変更があった場合は、速やかに田村市総務部財政課担当まで持参すること。
20	契約保証金	田村市財務規則（平成17年田村市規則第40号）第97条、第98条、第99条及び第100条の規定による。
入札の無効		
21	①	市の入札参加資格に必要な資格のない者のした入札
	②	地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第2項各号に該当すると認められた者のした入札
	③	その他、入札の条件又は市において特に指定した事項に違反した入札
その他		
22	①	入札書には、消費税を除いた金額を記載すること。
	②	一度提出された入札書は、書き換え、引き替え又は撤回することができない。
	③	その他この告示に記載していない事項については、地方自治法、同法施行令及び本市の契約規則等の定めるところによる。



(その2)

同種工事の施工実績（記載例）

商号又は名称 ○○○○株式会社

工 事 名 称	工 事 名	○○○○工事	△△△△工事
	発 注 者 名	田村市	△△△
	施 工 場 所	○○市○○町○○地内	△△市△△町△△地内
	契 約 金 額	○○,○○○,○○○円	○○,○○○,○○○円
	工 期	平成○○年○○月○○日～ 令和○○年○○月○○日	平成○○年○○月○○日～ 令和○○年○○月○○日
	受 注 形 態	元請 or 下請 単独 or 共同企業体	元請 or 下請 単独 or 共同企業体
工 事 概 要	工 事 形 式、 規 模・寸 法 等	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">公告の工事等種別と同じ種別の工事 ※同等以上の規模で直近のものが望ましい ※他自治体や民間工事实績も可</div>	
		施工延長 ○○m 幅員 ○○m ○○工 ○○㎡	○○造 延べ床面積 ○,○○○㎡ ○階建 ○○○○工事

備考 施工実績として記載した工事に係る契約書の写しを添付すること。

(その3)

主任（監理）技術者の資格・工事経験（記載例）

商号又は名称 ○○○○株式会社

配置予定者の氏名	○○ ○○	工種毎に必要な有資格者を配置すること 他自治体や民間工事实績も可
発注工種従事年数	○○年	
法令による 資格・免許	○級○○管理技士	
工 事 経 験 の 概 要	工 事 名	○○○○工事
	発 注 者 名	○○市
	施 工 場 所	○○市○○町○○地内
	契 約 金 額	○○,○○○,○○○円
	工 期	平成○○年○○月○○日～令和○○年○○月○○日
	従 事 役 職	現場代理人・主任技術者
工 事 内 容	施工延長 ○○m 幅員 ○○m ○○工 ○○m <sup>2</sup>	

備考 技術者の資格を明らかにするもの（合格者証等）の写しを添付すること。

## 見積内訳書の作成に係る留意事項

田村市総務部財政課

- ① タイトルは「見積内訳書」としてください。
- ② 代表者氏名の記載、代表者印を押印してください。
- ③ 見積内訳書は基本的に「金抜設計書」の項目に従い「数量×単価＝金額」で表示することとし、複数項目をまとめて一式としないでください。  
※ 金抜設計書で一式表記の項目は、見積内訳書においても一式表記で結構です。
- ④ 「値引き」や「まるめ」の表記は認めません。次のいずれかの方法で金額を調整してください。なお、最終的に積算した額の端数処理についても、同様の方法として下さい。
  - (1) 単価の引き下げ  
※ 例 金額を 300,000 円としたい場合  
(誤) ○○ 工事 100 m<sup>2</sup>×3,073 円＝300,000 円 (違算扱い)  
(正) ○○ 工事 100 m<sup>2</sup>×3,000 円＝300,000 円  
極端な単価の引き下げは違算扱いとなります。
  - (2) 諸経費の引き下げ
- ⑤ 下記のような場合、入札が無効となる可能性があります。
  - ・ 代表者氏名の記載漏れ、代表者印の押印漏れ
  - ・ 「値引き」や「まるめ」の表記がある
  - ・ 内訳書の内容に違算がある
  - ・ 積算すべき項目が抜けている
- ⑥ 見積内訳書の様式は任意とします。  
※ 「工事番号」・「工事名」・「入札日」・「住所」・「商号又は名称」・「代表者氏名」の記載、押印を忘れずをお願いします。

※ 道路改良工事の例  
第7号様式（第11条関係）

見 積 内 訳 書（記載例1）

工事番号	第〇〇-〇〇号	工 事 名	〇〇〇 工 事			入 札 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
費目・工種・施工名称等		数 量	単 位	単 価	金 額 (円)	備 考 ( 細 別 内 訳 等 )	
本工事費							
道路改良							
	土工				7,000,000		
	掘削工	6,000.0	m <sup>3</sup>	500	3,000,000		
	床掘工	4,000.0	m <sup>3</sup>	500	2,000,000		
	路床盛土工	2,000.0	m <sup>3</sup>	1,000	2,000,000		
	(中略)						
	路盤工				1,500,000		
	下層路盤工	1,000.0	m <sup>2</sup>	1,500	1,500,000		
	排水工				2,350,600		
	側溝工 (○-○)	50.0	m	15,500	775,000		
	側溝工 (○-△)	100.0	m	13,000	1,300,000		

	1号暗渠工					
		1.0	式	75,600	75,600	
	暗渠工					
		9.0	m	8,400	75,600	
	2号暗渠工					
		1.0	式	200,000	200,000	
	暗渠工					
		20.0	m	10,000	200,000	
	(中略)					
直接工事費					20,000,000	共通仮設費、現場管理費及び一般管理費に分けて計上すること。 「値引き」や「まるめ」は記載しない。
共通仮設費		1.0	式		1,500,000	
純工事費					21,500,000	
現場管理費						
		1.0	式		3,000,000	
工事原価					24,500,000	
一般管理費						
		1.0	式		2,507,000	最終的な工事価格は入札額と一致させること。
工事価格（入札額）					27,007,000	

住 所 ○○市○○町○○番地  
 商号又は名称 ○○○株式会社  
 代表者氏名 代表取締役 ○○ ○○ 印



※ 建築工事（修繕）の例  
第7号様式（第11条関係）

見 積 内 訳 書（記載例2）

工事番号	第〇〇-〇〇号	工事名	〇〇〇工事			入札日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
費目・工種・施工名称等		数量	単位	単価	金額(円)	備考（細別内訳等）	
直接工事費							
建築工事		1	式		3,000,000		
計					3,000,000		
共通費							
					1,007,000		
共通仮設費		1	式		100,000	共通仮設費、現場管理費及び一般管理費に分けて計上すること。 「値引き」や「まるめ」は記載しない。	
現場管理費		1	式		500,000		
一般管理費		1	式		407,000		
計					1,007,000		
工事価格（入札額）					4,007,000	最終的な工事価格は入札額と一致させること。	

建築工事						
改築改修工事						
	塗装改修工事	1.0	棟		2,420,000	仮設工事1.0式や塗装工事1.0式だけでなく、工法や数量内訳まで記載。 ※ 金抜設計書で一式とされている場合は一式表記を可とする。
	仮設工事	1.0	式		240,000	
	ブラケット足場	200.0	m <sup>2</sup>	900	180,000	
	養生シート張	200.0	延m <sup>2</sup>	300	60,000	
	塗装工事	1.0	式		1,620,000	
	錆落とし素地調整	900.0	m <sup>2</sup>	600	540,000	
	錆止め塗り	900.0	m <sup>2</sup>	600	540,000	
	〇〇塗装	900.0	m <sup>2</sup>	600	540,000	
	左官工事	1.0	式		560,000	
	左官工	70.0	m	800	560,000	
	A棟改修工事	1.0	棟		529,700	
	外壁改修工事				529,700	
	仮設工	1.0	式		247,500	

	枠組足場	150.0	架m <sup>2</sup>	1,650	247,500
	外壁補修	1.0	式		3,200
	クラック補修工	2.0	m	1,600	3,200
	左官工事	1.0	式		225,000
	左官工	150.0	m <sup>2</sup>	1,500	225,000
	塗装工	1.0	式		54,000
	〇〇 塗装工	50.0	m	1,080	54,000
	(以下、略)				

住 所 〇〇市〇〇町〇〇番地  
 商号又は名称 〇〇〇〇株式会社  
 代表者氏名 代表取締役 〇〇 〇〇 印